

平成 21 年度事業報告書

特定非営利活動法人 学生人材バンク

## 目次

### 一. 事業報告

#### 1. 特定非営利活動に係る事業

- (1) ボランティア・イベント・アルバイトの情報提供事業
- (2) 学生が主体的に考えて活動するプロジェクト支援事業
- (3) 地域の発展等に寄与する多彩な活動の受託
- (4) その他、本団体の目的を達成するための活動事業

#### 2. その他の事業

### 二. 全体総括

## 一. 事業報告

### 1. 特定非営利活動に係る事業

#### (1) ボランティア・イベント・アルバイトの情報提供事業

##### 【事業概要】

本年度の弊社の情報提供方法は大きく分けて2種類である。

①電子メール配信サービス『とりつく』

②交流スペース『鳥取情報市場』

##### 【事業結果】

##### ①情報配信事業『とりつく』

新規登録者が年間で446名。合計で常に約1100名の登録学生（卒業生や退会者が流動的であるため）に電子メールにて、地域の情報を年間で164通提供した。内訳はアルバイト情報（52）イベント・ボランティア情報（75）その他（37）である。

##### ②交流スペース『鳥取情報市場』

『鳥取情報市場』というコミュニティスペースを平成20年4月1日にオープンした。大学生へのアナログの情報発信を目的として設置し、毎週月曜から金曜の11:00～18:00に開所している。年間で6325名の来場者があり、開設日は年間約200日であったので（お盆・正月などは閉所）、一日当たり20名～30名の学生が足を運んでいた。平均31.6名、最大62名。

年度末に際し、レイアウトを変更した結果、事務スペースと交流スペースを分けより利用者目線での空間づくりを行なっている。

##### 【事業評価】

メール配信サービスは、今年度は積極的な営業活動を行うことができなかったのにも関わらず、コンスタントな利用があり定着が見られる。今後はリピーターの確実な確保が必要とされる。

鳥取情報市場に関しては、少しずつ定着してきており、学生の入場が増加傾向である。

##### 【次年度への展望】

メール配信サービスは、鳥取県中部西部エリアへのサービス提供を可能にできるような形をねらっていききたい。

鳥取情報市場は、学生プロジェクトなどへの参加を促すような使い方を模索し、弊社をサポートしてくれる学生人材をつなげる場所にしていく必要がある。

#### (2) 学生が主体的に考えて活動するプロジェクト支援事業

##### 【事業概要】

学生のプロジェクト事業は5プロジェクトである。

##### 【事業結果】

##### ①農村16きっぷ

農村16きっぷでは、鳥取県農林水産部耕地課による委託事業『鳥取県農山村ボランティア事務局』を学生と運営すること、それに自主事業を併催する形で行なった。年間を通して、延べ約300名の学生が鳥取県内の約30の農村集落を訪問し、ボランティア作業やイベント参加などを行なった。また、農村の情報を集めて発信する『農村16きっぷ』を年間2回、5000部発行した。

自主事業としては、平成17年から継続している智頭町中島集落での立命館大学との交流プログラム『村咲ク』を夏と冬に2回。昨年に引き続き、鳥獣害対策イベント『柿ドロボー』を岩美町鳥越集落にて開催した。

##### 【事業評価】

オーライニッポン大賞の受賞もあり、県外からの講演や視察が少し増えた。学生スタッフの人数をもう少し増やしていくと、事業自体も余裕のあるものになると思う。

##### 【次年度への展望】

学生の繁忙期に職員でうまく回す体制、サポート体制の充実が必要とされる。またスタッフとは別にボランティアに良く参加してくれる学生などを連携させていく必要性が出てくる。

## ②まちづくり

まちづくりイベントとしては、平成18年より継続している『吉岡温泉ホテル祭り』の開催を学生とサポートした。一つは『ホテルバスの運行』。ホテルの見られる場所までのバスガイドを学生が行なった。観光協会の方にガイドのお手本を見せてもらい台本を作成、それをもとにしながら、学生が案内するというもの。年々ホテルバスへの乗車は増えてきている。

もう一つは、祭り当日の運営サポート、事前広報の協力ということで、テレビ番組への出演。チラシなどの配布。当日はステージの司会進行及び、人力車の運行補助を行った。どこから来たかマップが地元の人に好評だった。

### 【事業評価】

今年度はインターン生を活用する形となったので、非常にいい形で運営できた。

### 【次年度への展望】

次年度も、インターン生を活用して学生を絡めていきたい。

## ③田舎応援戦隊三徳レンジャー

### 【事業結果】

三徳地域の田んぼを生産から流通まで行なうプロジェクトとして設立。メンバーは5名。水路清掃など、地域の活動に積極的に参加した。また草刈りを教えてもらいながら、地域の草刈りを請負いするなど、自主財源を交通費に充てたりしている。

販売部門では、学生のつながりを中心に、大学祭での販売を行なった。

### 【事業評価】

地域の方にも好評な企画で、つながりを感じることができる企画となった。販売に関してはもう少し、具体的な販売ルートの確立ができると良かった。

### 【次年度への展望】

メンバーが卒業するので、新メンバーの補充を行い事業を実行する。

## ④とっとり学ビジネス

### 【事業結果】

昨年度後期より営業プロジェクトとして実行、今年度は前期にスキルバンクを絡めるものとして実行。

### 【事業評価】

メンバーのモチベーションが維持できず、営業活動を継続的に行うことができなかった。

## ⑤インターンシップ

ホテル祭りの他にもインターンシップを行なった。

○登録者倍増インターン

○English café ブラッシュアップインターン

○NPO 総会開催インターン

○ホテル祭りインターン

○農村の魅力発信インターン

### 【事業評価】

インターンシップの受入れを本格化した最初の年であった。インターンメンバーの受入れ体制を確保するのが難しかった。またインターン生が忙しくなってしまう事業の修正が入った。

### 【次年度への展望】

インターンシップ希望者の取得単位数等、優先順位を図る面談を行うべきであった。一度に3名程度が良いと思われる。

## ⑥総括

### 【事業評価】

昨年に比べ事業数が減少したが、新規事業の三徳レンジャー、インターンシップについてはよい経験を積むことができた。

### 【次年度への展望】

関わる学生を増やすために、良い学生には積極的に声をかけるなどが必要である。

### (3) 地域の発展等に寄与する多彩な活動の受託

#### ①鳥取県農林水産部耕地課事業農山村ボランティア事務局

→ (2) にて報告

#### ②若者ボランティア・地域活動支援センター事業

##### 【事業結果】

若者アンケート、ハイジャック会議、若者プロジェクトを開催した。

##### 【事業評価】

大学生以外の若者に対するキッカケづくりとして、初年度を迎えることができた。アンケートなどが事業の並行作業がうまくいかない部分が出てきた。

##### 【次年度への展望】

活動に参加する情報配信を行なって、参加者を増やしていく必要がある。

#### ④グリーンツーリズム農家漁家民泊開設推進員設置事業

##### 【事業結果】

鳥取市グリーンツーリズム推進連絡会のサポートとして、農家民泊とグリーンツーリズムの普及をサポート。農家民宿の申請2件、農村フォーラム、視察会を開催。

##### 【事業評価】

弊社のつながりを活かしたフォーラム及び視察会を開催することができた。

##### 【次年度への展望】

民泊の申請を増やしていくこと、集落のできる形を模索すること。

#### ⑤日本のまつりボランティアセンター事業

##### 【事業結果】

日本のまつりのボランティアセンターのコーディネーターとして、当日までのコーディネーションを実施

##### 【事業評価】

弊社のノウハウを生かすことができた。

### (4) その他、本団体の目的を達成するための活動事業

#### ①司会講演など

今年度は平均して月1回、外部への講演などをおこなった。また、理事の藤田も鳥取県内においてパネルディスカッションのパネラーとして参加した。

##### 【事業評価】

毎年、少しずつであるが講演依頼が増えている。田中だけでなく、藤田にも依頼が来ることで事業体として受け幅が広がることは評価できる。

##### 【次年度への展望】

田中以外が講演を受託できるようにすること、大学との連携を深めること。講演の収益性も考えていくこと。

## 2. その他の事業

その他の事業は本年度は特に行っていない。

## 二. 全体総括

(1) 大学生を中心とした若者へ現場体験を提供するという目標に対して

① 成長のキッカケ作り

大学生だけでなく、若者事業を通じて若者に広げることができるようになった。

② 現場体験の提供

農村16きっぷを中心として、多くの学生に現場体験を与えている。より考える機会にするためには、深い関わりやジャンルの多様な関わりが必要とされてくる。リピーターやプロジェクトスタッフの人数が増えるような仕掛けを考える必要がある。

③ 成長支援

今年度は、大学の講義がなくなったため、成長支援はあまりできなかった。

(2) 若者の行動力と視点で地域を活性化させるという目標に対して

① 地域への接点作り

三徳レンジャーのように、一地域に連続的に関わり関わり方に深みができることが分かった。

② 地域マネジメントサポート

若者事業で行なったハイジャック会議から、若者プロジェクトが生まれており、マネジメントサポートの実態が生まれてきた。

(3) 今後の展望

地域の若者を関連させる流れが出始めた一年となった。これを全県に広げていき実績を積んでいく必要がある。

科 目	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金・預貯金		
現金	147,973	
小口現金	74,624	
普通預金		
鳥取銀行県庁前出張所0013061	1,570,526	
郵便貯金		
鳥取東町郵便局15230-7371221	406,523	
売上債権		
情報提供事業売掛金		
(株)情報サービス鳥取	30,000	
鳥取県協働連携推進課	15,000	
アパホテル鳥取駅前店	15,000	
(有)カントリーフード	5,000	
ほくしん株式会社	30,000	
高天	5,000	
NPO法人未来	5,000	
企画運営事業売掛金		
鳥取県農林水産部農地・水保全課		
平成22年度農山村ボランティア事務局委託料	5,400,990	
広告売掛金		
イナバ自動車学校	30,000	
トマト&オニオン鳥取湖山店	30,000	
鳥取県観光政策課	50,000	
売掛金		
鳥取力創造キャビネット実行委員会	5,350	
その他流動資産		
前払費用		
サクラインターネットサーバ料	17,500	
未収金		
公用車私用料	5,540	
スキルバンク受講料	1,200	
その他未収金	12,800	
仮払金		
労働保険料	22,134	
流動資産合計		7,880,160
2 固定資産		
有形固定資産		
建物付属設備		
鳥取情報市場看板1枚	114,000	
什器備品		
パーソナルコンピュータ2台	269,469	
複合機プリンタ1台	540,000	
車両		
三菱TOPPO1台	250,000	
減価償却累計額	△ 559,729	
固定資産合計		613,740
3 投資その他の資産		
鳥取情報市場敷金	126,000	
投資その他の資産合計		126,000
資産の部合計		8,619,900
II 負債の部		
1 流動負債		
未払費用		
スタッフ人件費平成22年3月分	1,542,820	
経過勘定	153,707	
立替金		
高田昭徳	1,350	
預り金		
社会保険料	155,059	
雇用保険料	15,893	
源泉所得税	88,802	
住民税	4,900	
受託販売		
鳥取Show up VOL3	3,380	
Tukurumi.	300	
前受収益		
平成22年度農山村ボランティア事務局委託料	4,942,276	
未払法人税等	81,000	
流動負債合計		6,989,487
2 固定負債		
長期借入金		
ほくしん株式会社	70,000	
リース債務		
複合機プリンタ1台	354,869	
固定負債合計		424,869
負債の部合計		7,414,356
III 正味財産の部		
正味財産		1,205,544
正味財産の部合計		1,205,544
負債・正味財産合計		8,619,900

## 平成21年度 特定非営利活動に係る事業 貸借対照表

平成22年3月31日

特定非営利活動法人学生人材バンク

科 目	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金・預貯金		
現金	147,973	
小口現金	74,624	
普通預金	1,570,526	
郵便貯金	406,523	
売上債権		
売掛金	5,350	
情報提供事業売掛金	105,000	
業務委託	5,400,990	
広告売掛金	110,000	
その他流動資産		
前払費用	17,500	
未収金	19,540	
仮払金	22,134	
流動資産合計		7,880,160
2 固定資産		
有形固定資産		
建物付属設備	114,000	
什器備品	809,469	
車両	250,000	
減価償却累計額	△ 559,729	
固定資産合計		613,740
3 投資その他の資産		
敷金	126,000	
投資その他の資産合計		126,000
資産の部合計		8,619,900
II 負債の部		
1 流動負債		
未払費用	1,696,527	
立替金	1,350	
預り金	264,654	
受託販売	3,680	
前受収益	4,942,276	
未払法人税等	81,000	
流動負債合計		6,989,487
2 固定負債		
長期借入金	70,000	
リース債務	354,869	
固定負債合計		424,869
負債の部合計		7,414,356
III 正味財産の部		
正味財産		1,205,544
正味財産の部合計		1,205,544
負債・正味財産合計		8,619,900

平成21年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書  
平成21年 4月 1日から 平成22年 3月 31日まで

特定非営利活動法人学生人材バンク

科 目	金 額 (単位: 円)	
I 収入の部		
1 財産運用収入 受取利息	1,358	1,358
2 会費・入会金収入 賛助会員会費収入	40,000	40,000
3 事業収入 ボランティア・イベント・アルバイトの情報提供事業収入 学生が主体的に考えて活動するプロジェクト支援事業収入 地域の発展等に寄与する多彩な活動の受託収入 その他、本団体の目的を達成するための活動事業収入	1,011,734 6,560,351 11,009,270 811,596	19,392,951
4 その他の収入 寄付金収入 雑収入	1,788,504 585,299	2,373,803
当期収入合計 (A)		21,808,112
前期繰越収支差額		636,519
収支合計 (B)		22,444,631
II 支出の部		
1 事業費 ボランティア・イベント・アルバイトの情報提供事業費 学生が主体的に考えて活動するプロジェクト支援事業費 地域の発展等に寄与する多彩な活動の受託費 その他、本団体の目的を達成するための活動事業費	843,281 6,930,195 10,349,848 960,238	19,083,562
2 管理費 人件費 法定福利費 福利厚生費 通信費 水道光熱費 旅費交通費 広告宣伝費 接待交際費 会議費 消耗品費 新聞図書費 修繕費 地代家賃 保険料 租税公課 支払手数料 減価償却費 雑費 法人税、住民税及び事業税	814,585 329,983 67,030 60,081 42,228 130,768 5,000 41,250 7,610 110,017 460 53,750 36,000 207,942 3,271 33,122 106,774 10,399 81,000	2,141,270
3 その他経費 支払利息 雑損失	100 14,155	14,255
4 予備費	0	0
当期支出合計 (C)		21,239,087
当期収支差額 (A) - (C)		569,025
次期繰越収支差額 (B) - (C)		1,205,544

科 目		金 額 (単位:円)	
I	資産の部		
1	流動資産		
	現金・預貯金	0	
	売上債権	0	
	その他流動資産	0	
	流動資産合計		0
2	固定資産		
	固定資産合計		0
3	投資その他の資産		
	投資その他の資産合計	0	
	資産の部合計		0
II	負債の部		
1	流動負債		
	流動負債合計		0
2	固定負債		
	固定負債合計	0	
	負債の部合計		0
III	正味財産の部		
	正味財産	0	
	正味財産の部合計		0
	負債・正味財産合計		0

平成21年度 その他の事業 貸借対照表

平成22年3月31日  
 特定非営利活動法人学生人材バンク

科 目		金 額 (単位：円)
I	資産の部	
	資産の部合計	0
II	負債の部	
	負債の部合計	0
III	正味財産の部	
	正味財産の部合計	0
	負債・正味財産合計	0

平成21年度 その他事業 会計収支計算書  
平成21年 4月 1日から 平成22年 3月 31日まで

特定非営利活動法人学生人材バンク

科 目	金 額 (単位:円)	
I 収入の部		
1 財産運用収入	0	0
2 会費・入会金収入	0	0
3 事業収入	0	0
4 その他の収入	0	0
当期収入合計 (A)		0
前期繰越収支差額		0
収支合計 (B)		0
II 支出の部		
1 事業費	0	0
2 管理費		
人件費	0	
法定福利費	0	
福利厚生費	0	
通信費	0	
水道光熱費	0	
旅費交通費	0	
広告宣伝費	0	
接待交際費	0	
会議費	0	
消耗品費	0	
新聞図書費	0	
修繕費	0	
地代家賃	0	
保険料	0	
租税公課	0	
支払手数料	0	
減価償却費	0	
雑費	0	
法人税、住民税及び事業税	0	0
3 その他経費		
雑損失	0	0
4 予備費	0	0
当期支出合計 (C)		0
当期収支差額 (A) - (C)		0
次期繰越収支差額 (B) - (C)		0

## 注記表

特定非営利活動法人 学生人材バンク

平成22年 3月31日 現在

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています

### 【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

- (1). 資産の評価基準及び評価方法
  - ①. 有価証券の評価基準及び評価方法
    - ア. 時価のあるもの 決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）
    - イ. 時価のないもの 移動平均法による原価法
  - ②. 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
総平均法による原価法
- (2). 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産：定額法  
無形固定資産：定額法
- (3). 引当金の計上基準  
貸倒引当金：売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- (4). その他計算書類の作成のための基本となる重要事項
  - ①. リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
  - ②. 消費税等の会計処理  
消費税及び地方消費税の会計処理は、免税事業者につき税込処理しております。
- (5). 資金の範囲  
資金の範囲は正味財産としております

### 【貸借対照表に関する注記】

- (1). 有形固定資産の減価償却累計額 559千円
- (2). 関係会社に対する金銭債務  
ほくしん株式会社 70千円

### 【リースにより使用する固定資産に関する注記】

事務用コピー機等についてはリース契約により使用しております。

- (1). リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引
  - ①リース物件の取得価額相当額

	什器備品	合計
取得価額相当額	540,000	540,000

- ②未経過リース料期末残高相当額

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	120,000	260,000	380,000

- ③当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

支払リース料	100,000
支払利息相当額	17,258

- ④支払利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については利息法によっております。

前事業年度の役員名簿

特定非営利活動法人学生人材バンク

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた 期間
理事	中川玄洋	鳥取市福部町海士305-2	2008年5月15日 ～ 2010年3月31日	
理事	小谷寛	鳥取市片原3丁目119番地	2009年5月16日 ～ 2011年3月31日	
理事	藤田良子	鳥取市河原町神馬296番地	2008年5月15日 ～ 2010年3月31日	
理事	影山文彦	鳥取市湖山町南一丁目246番地 溝口義人方	2008年5月15日 ～ 2010年3月31日	
監事	永井伸和	境港市麦垣町100番地	2008年5月15日 ～ 2010年3月31日	
監事	山中英雄	鳥取市円護寺106番地	2008年5月15日 ～ 2010年3月31日	